



元氣とタイムリーな情報を提供する

五十嵐レポート

発行:「町コン」五十嵐 勉 2025年04月28日 第1215「週刊五十嵐レポート」

淘汰・再編

4月12日付日経新聞、「私大経営『正常』半数割れ」という記事。私大を運営する全国571の学校法人のうち2023年度の収支状況などから経営が「正常状態」といえる法人が278法人で5割を切った。136法人が経営困難な状況にあり、うち17法人が自力で再生が極めて難しい状態だ。少子化や物価上昇で私大を取り巻く環境は厳しさを増している。突然破綻すれば、学生に大きな不利益が及ぶ。規模の適正化や再編を促すため、文科省は今夏までに今後10年ほどの改革案をまとめる方針。

4月25日付朝日新聞、「第四北越と群馬銀統合へ」という記事。第四北越銀行を傘下に持つ第四北越フィナンシャルグループと群馬銀行は2027年4月をめどに経営統合する基本合意を発表。県をまたいだ基盤強化を図る。人口減などで地方経済は力強さを欠き、地銀を取り巻く状況は厳しい。日本銀行が利上げを進めて「金利のある世界」が本格化する中、ネット銀行など異業種を含めた預金の獲得競争も激しくなっている。

3月3日付日経新聞、「お相撲さん半減？」という記事。大相撲の力士数減少に歯止めがかからない。3月春場所の番付に載った力士数は588人。1994年943人のピークから6割の規模に縮んだ。将来の半減も現実味を帯びる。古い習慣と低待遇が壁であると。(サッカーJリーグから学べるか)

4月13日付朝日新聞、「大工の数1/3」という記事。大工の数がこの40年間で1/3になった。国勢調査によると、「大工就業者数」は80年93万人をピークに減り続け、2020年には30万人を割った。35年には約15万人まで減るという試算。注文住宅は今後「ぜいたく品」になると予測。23年度の首都圏における注文住宅の建築費は5466万円で13年度の倍近い。

2024年に日本で生まれた子供の数は72万人で過去最少を更新、この流れは変わらない。銀行ではネット銀行が台頭し、中小企業のメインバンクにネット銀行が増えてきた。大学・高校では通信制校が成長している。柳川高校はマイクロソフトのワード・エクセルや民間企業とタイアップしてビジネスの授業を行い、世界から留学生を呼び込み、生徒数を増やしている。大工を育成する仕組みがある工務店は強くなる。同業者と同じことをしていたら共倒れ。

ちょっと
気になる出来事

4月23日付日経新聞、「スポーツの力」は「AI時代の非認知能力育む」。非認知能力とは、協調性やコミュニケーション能力、リーダーシップ、自己管理能力などのことをいう。

スポーツ教室運営大手リーフランスの業績が好調。売上は右肩上がりです。2024年は100億円を突破。スクール事業の会員数は約7万人。学校部活動の地域への移行、展開の受け皿として成長。理由はそれだけではない。スポーツによって非認知能力が育つということへの理解が年々広がっているとのこと。同社の教室はスポーツの上達や勝利よりも、子どもたちの将来に役立つ能力をスポーツを通じて育てることを目的としている。

日本のスポーツの指導現場では勝利至上主義や高圧的なやり方が子どものスポーツへのネガティブなイメージを生んできた。従来のスポーツ指導が批判されて見直しが進んでも追い風になっている。

非認知能力はAIが活躍する社会でますます重要になると。「やる気」「粘り強さ」「感情のコントロール」「協調性」「責任感」「目標設定能力」などなど。昔から必要とされている人材の資質。逆にAI時代だからこそ重要。



一口メモ
知識

第一章 人生の目標(1)

大いに学び、学んだことはしまい込まずに実践すると気分がいいぞ。考えの遠く隔たった者とも語り合い、友達づきあいができるようになると楽しいぞ。周りが自分を認めてくれないからってクサるなよ。オンリーワンとなるよう精進しようや。

子曰：学而時習之，不亦说乎，有朋自远方来，不亦乐乎，人不知而不愠，不亦君子乎。

「高校生が感動した『論語』(祥伝社新書/佐久協)より

- 「戦略社長塾東京」小岩校 毎週日曜日・水曜日 午前10時～12時
- 「戦略社長塾東京」銀座校、武蔵村山校、豊岡校 開講中。

㈱五十嵐コンサルティングオフィス 〒133-0051東京都江戸川区北小岩6-21-5
TEL.03-3659-7703 Fax03-3659-7077 info@igarashireport.com

